

教育支援部だより

令和元年度 NO. 2

1学期も残すところ、わずかになりました。

本校ではクラスで担任による自立活動と抽出（クラスから離れて）の自立活動があります。抽出は、PT（理学療法士）による運動学習とST（言語聴覚士）による言語学習の2種類があります。今回は、小学部児童の言語学習の様子をお伝えします。

目標：口や舌の動きをなめらかにし、はっきりした発音ができる

時間数：週1時間

内容：口の体操、舌の体操、カードを使ったしりとり、すごろく等

口の体操



かたかたかた・・・
（うまくでき、
笑顔です。）

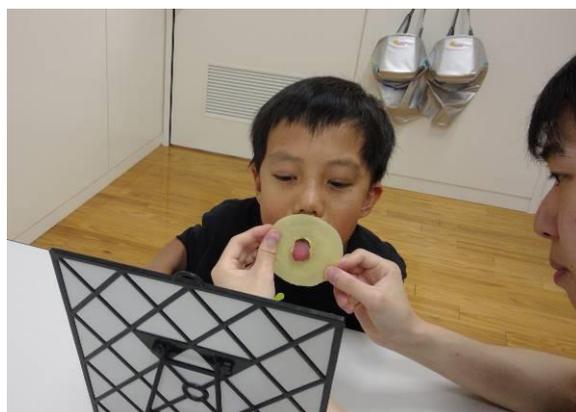
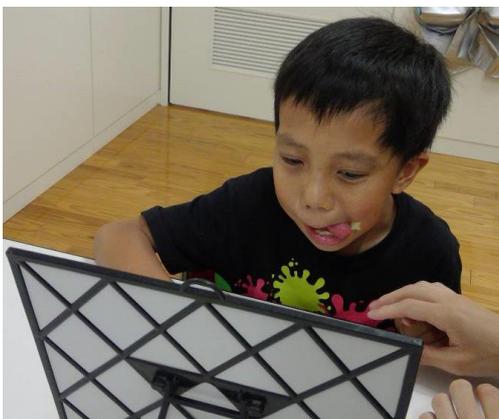
たらたらたら・・・
これはよくわかんない～

あうあうあう・・・
これはちょっとしんどい～

口や舌の動きは、まだスムーズにいかないこともあり、本人もうまくいかないことに気づき「よくわかんない」という言葉で、先生に伝えます。無理をせず、楽しく学習することで今後の「伝えたい気持ち」を育むと考えています。

ミルクせんべいを使った舌の体操

舌でせんべいに穴をあけたり、口の周りに付けたせんべいを舌でとったりすることで、舌が動きます。



しりとり

あった～！
『どらいばあ』知ってる！
パパ くるくるしてる！



絵と文字があることで、しりとりもできやすくなります。

しりとりを通して、語彙数が増え、生活の中で見たものとことばがつながっていきます。

また、名前がわからないものについては、文字を読んで名前がわかり、ゆっくり丁寧に発音しています。言語学習の中では、1文字ずつ読むだけではなく、テンポよく読む等のように、生活の中で使いやすくなることを考えて、発音もするよう声かけをしています。

ことばや発音を育てる環境として、①規則正しい生活②全身の運動③情緒の発達④手、口、舌等を使う⑤豊かな体験等が必要だと言われます。

また、言い直しをさせない、大人がゆっくり正しい発音を子どもに聞かせる等も大切です。

楽しい学習や経験の中で「いっぱいお話をしたい」気持ちを育みたいですね。

ことば・発音等で気になることがありましたら、本校には言語聴覚士がいますので、ご相談下さい。

和歌山大学フォーラムについてのお知らせ

本校に於いて、テレビ会議システムで行われます。

参考になるお話です。是非ご参加下さい。

日時 令和元年7月31日(水) 10時～12時15分
13時15分～15時

場所 きのかわ支援学校 会議室

内容 和歌山大学教育学部特別支援教育フォーラム

「障害のある人のライフステージに応じた発達支援の現状と課題」(仮題)

幼児期 和歌山大学教育学部 竹澤 大史先生

児童期 和歌山大学教育学部 江田 祐介先生

思春期・青年期 和歌山大学教育学部 山崎 由可里先生

青年期以降 和歌山大学教育学部 古井 克憲先生